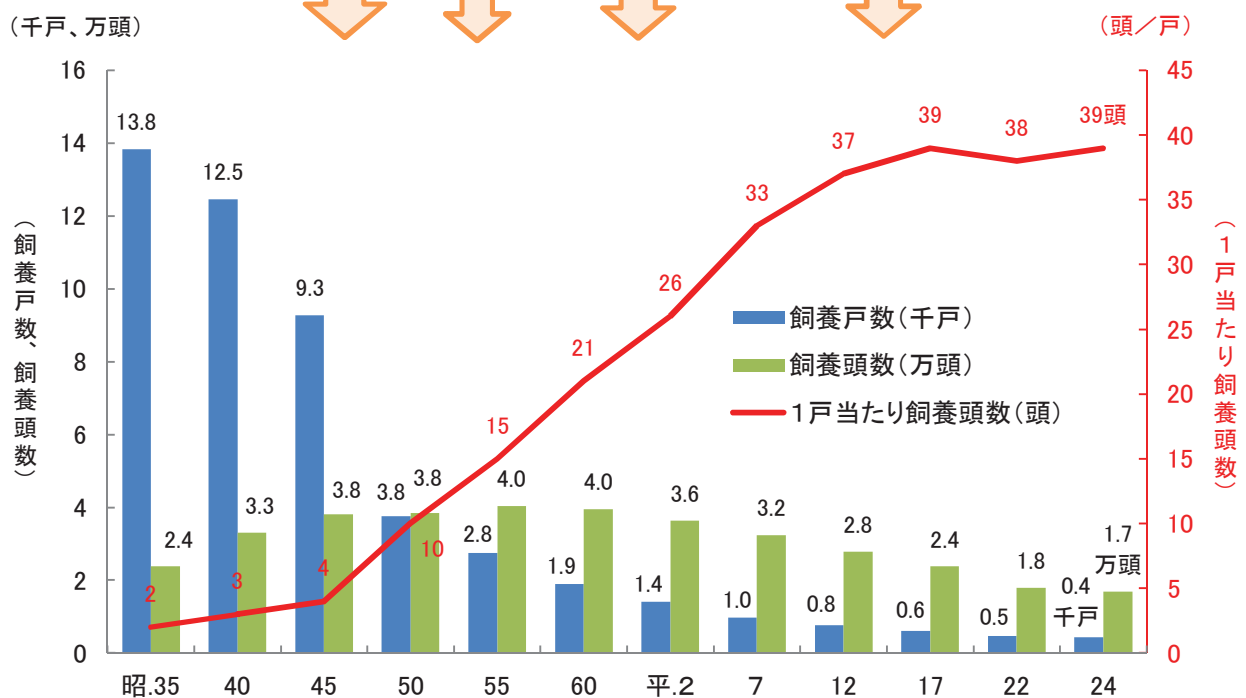
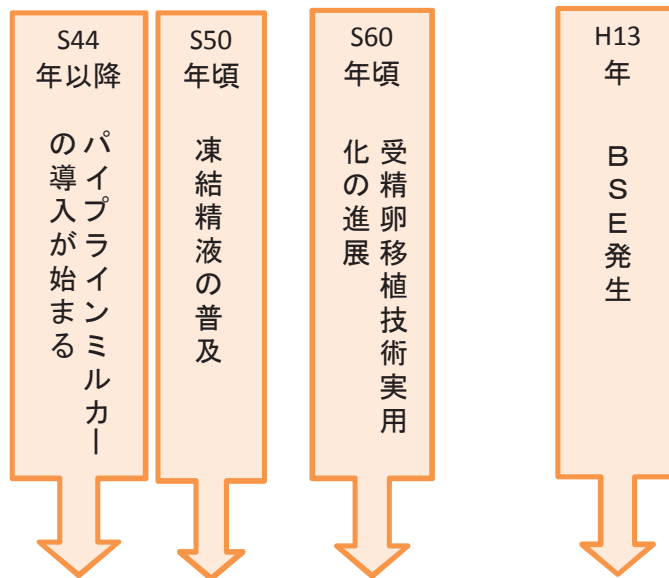


乳用牛の変遷

- 酪農(乳用牛)は、畜産物需要の増加を背景に、昭和40年以降、省力技術であるパイプラインミルクの普及や凍結精液及び受精卵移植技術の実用化により規模拡大が進み、1戸当たり飼養頭数が増加。



H25年 乳用牛共進会
(新潟県)



【乳用牛の飼養動向(北陸)】

資料:農林水産省「畜産統計」